

Week of March 9, 2025 - To the Married & The Unmarried　　Small Group Lesson 17

知り合う

結婚が政府によって認められなくなった場合、世界はどのように変わるのでしょうか？結婚は単なる契約なのでしょうか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 7:1-16（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1さて、そちらから書いてよこしたことについて言えば、男は女に触れないほうがよい。2しかし、淫らな行いを避けるために、男はそれぞれ自分の妻を持ち、女もそれぞれ自分の夫を持ちなさい。3夫は妻に対して、同様に妻も夫に対してその義務を果たしなさい。4妻は自分の体を意のままにする権利を持たず、夫がそれを持っています。同様に、夫も自分の体を意のままにする権利を持たず、妻がそれを持っています。5互いに相手を拒んではいけません。ただし、合意の上で、祈りに専心するためにしばらく別れ、また一緒になるというなら話は別です。あなたがたが自制する力がないのに乗じて、サタンが誘惑しないとも限らないからです。6もっとも、私は譲歩のつもりで言うのであって、命令するつもりはありません。7私としては、皆が私のようであってほしい。しかし、人はそれぞれ神から賜物をいただいているので、人によって生き方が違います。8独身の男とやもめの女に言いますが、私のようにしていられるなら、それがよいのです。9しかし、自制することができないなら、結婚しなさい。情の燃えるよりは、結婚するほうがよいからです。10さらに、既婚者に命じます。妻は、夫と別れてはいけません。こう命じるのは、私ではなく、主です。11――けれども、別れてしまったのなら、結婚せずにいるか、夫と和解するかしなさい。――また、夫は妻を離縁してはいけません。12その他の人たちに言います。これを言うのは、主ではなく、私です。ある信者に信者でない妻がいて、その妻が一緒に暮らすことを望んでいる場合は、離縁してはいけません。13また、ある女に信者でない夫がいて、その夫が一緒に暮らすことを望んでいる場合も、離縁してはいけません。14信者でない夫は、妻によって聖なる者とされ、また、信者でない妻は、夫によって聖なる者とされているからです。そうでなければ、あなたがたの子どもは汚れていることになりますが、実際には聖なる者です。15しかし、信者でない相手が離れて行くなら、離れるに任せなさい。こうした場合、信者である夫あるいは妻は、結婚に縛られてはいません。神は、平和な生活を送るようにと、あなたがたを召されたのです。16妻よ、あなたが夫を救えるかどうか、どうして分かるのですか。夫よ、あなたが妻を救えるかどうか、どうして分かるのですか。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1:パウロは、教会内の性的不品行の問題の解決策として、どのようなことを提案していますか。 (1-5節, 8-9節) なぜ、彼の助言が未信者には意外に思えるのでしょうか？

2: 10節で与えられた命令と12節で与えられた命令の違いは何ですか？なぜパウロがこのように区別することが有益なのでしょうか？

3: 10-11節で、パウロは結婚生活における和解をどのように強調しているのでしょうか。パウロは、未信者の配偶者が和解を望まない場合、信者である配偶者にどのように助言していますか。

分かち合い

話し合い　その１：
メッセージの中で武牧師は、ビュッフェでローストビーフが出てこなかったとき、オプションで高いお金を払ったにもかかわらず、泥棒に入られたような気分になったと話しました。同じように、定期的な性的親密さは、夫婦が不満や憤り、あるいは裏切りの感情を持つことをどのように防ぐのだろうか？(4節、1コリント6:20、ルツ記4:10参照)

話し合い　その2：
パウロは、信者でない配偶者と結婚生活を続ける目的は、その配偶者を救いに導くことだと教えています。家庭内の生活にはどのような意味があるのでしょうか？また、避けるべき一般的な問題にはどのようなものがあるのでしょうか？このことは、彼らの生活における礼拝とどのような関係があるのでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。